

題材目標について

- それぞれの子どもの目標を個別化する
- 授業の評価・改善ができるよう、題材の最後の姿（到達像）の具体化する
- 身につけたいことを焦点化する
- 前単元や題材、または、日常生活で意欲的に取り組めた工夫を活用
例：教材の仕組み、学習環境の工夫など

教材について

- 子どもに身につけてほしい知識及び技能、生活に生かせるような思考力・判断力・表現力をその教材で習得・育成できる？
- 必要性を感じ、課題をもてる？
- 主体的・対話的な活動は取り入れられる？
- 絵、写真、ビデオなど具体物を使用するなどの工夫ができる？
- 子どもが自分でルールを決めたり、役割を設定したりできる？
- 子どもにとっての強化子はある？

題材計画について

- つまずきの原因分析から、できること・わかることが段階化されている？
- 子どもの学び取りの傾向から課題の引き受けや実施方法が検討・工夫されている？
- 全体の計画と個別の計画がわかるようになっている？
- 【一次】
- 仕組みを理解したり、楽しさを感じたりできる？
- 活動の意味やよさが十分理解できる？
- 【二次】
- 二次は確実な知識の習得
- 子どもに到達してほしい頭の使い方がぶれていない？
- 負荷がかかりすぎている？
- 支援が減る、問題の難易度が高まるなどしている？
- 友だちと一緒に学ぶ場が計画されている？
- 自分で考えた仕方や解決方法を生かせる仕組み？
- 【三次】
- できるようになったことを生かす場は設定されている？

学習環境について

- 活動の流れや量、しやすさを考えた道具材料の配置？
- 不要な刺激は排除している？
- 仕方や手順がわかりやすく伝えられる？
- 成果が見てわかる？
- 自分で仕方や手順を確かめられる？
- 教具は、思考(わかる)を補助できる？
- 教具は一人で使えるようになる？
- 期待感(してみたい!)をもてる？

学習活動について

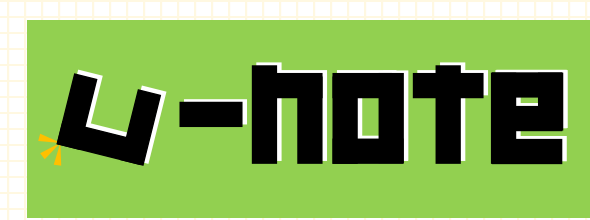
- 導入は課題理解、興味関心
- 展開は知識習得のため、教具の理解や操作が適切？
- 発展は定着、応用、工夫できる？
- 終末は自己評価と次時への意欲
- 目的や意味、よさがわかる？
- 何をどのくらいどのようにするかわかる？
- 課題は段階的に高まっている？
- 間違いに気づいてやり直せる仕組み？
- 学習の結果と目的が繋がって達成感がもてる？

評価について

- めあてと指導はつながってる？
- 文章・文法はわかりやすい？伝わる？
- 不適切な表現はない？(難しい、できないなど)

⑤ / 欠	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	
【気づいたこと】	
主・対で深い学びの実現に向けた改善	
⑥ / 欠	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	
【気づいたこと】	
主・対で深い学びの実現に向けた改善	
⑦ / 欠	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	
【気づいたこと】	
主・対で深い学びの実現に向けた改善	
⑧ / 欠	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	
【気づいたこと】	
主・対で深い学びの実現に向けた改善	
⑨ / 欠	【うまくいかなかったこと】
【うまくいったこと】	
【気づいたこと】	
主・対で深い学びの実現に向けた改善	

次回は評価へ



実施期間 令和 年 月 ~ 月

学部

グループ 児童生徒氏名

教科 指導領域

実態

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性

どうなしてほしい？(望む姿・到達像)

学習指導要領の扱う段階の目標と内容と題材目標

- 実態について
- 個別の教育支援計画を確認 (その子どもに必要なこと?)
 - 個別の指導計画で領域を確認
 - 知識を段階化した一覧を実態表として使用し、実態を把握
 - 「できない」ことは問題でなく、つまずきの原因が重要
 - (1) この題材で達成が可能? 【可能性】
 - (2) 現在の生活で必要は? 【必要性】
 - (3) 将来の豊かな生活につながる価値は? 【価値性】

【三つの柱をシンプルに整理】

【何を習得するか（知・技）】	【〇と判断できる発言や姿】	【大まかにどう細分化・段階化する？（詳細は題材計画で）】
【知・技をどの場面で発揮するか（思・判・表）】	【〇と判断できる発言や姿】	【大まかにどう細分化・段階化する？（詳細は題材計画で）】
【学習に臨む姿勢や発言は？】	【どう引き出す？】	

【教材は？】 【教材名：】

【仕組み】	【改善】
-------	------

【全 時間をどう使う？（題材計画）】

【一次】	【二次】	【三次】
知・技		
思・判・表		
学び		

【めあて達成のための工夫は？（場面設定・教具・働きかけなど）】

【工夫点】	【意図（ポイント）】
-------	------------

【1時間をどう展開する？】

学習活動	意図と働きかけ（主発問・みとめ・タイミングなど）	【板書・配置・教具など】
		【改善】

【評価】

開始時の姿（実態・課題）	指導・支援	結果

M E M O

① / 欠 【うまくいったこと】	【うまくいかなかったこと】
【気づいたこと】	
主・対で深い学びの実現に向けた改善	
② / 欠 【うまくいったこと】	【うまくいかなかったこと】
【気づいたこと】	
主・対で深い学びの実現に向けた改善	
③ / 欠 【うまくいったこと】	【うまくいかなかったこと】
【気づいたこと】	
主・対で深い学びの実現に向けた改善	
④ / 欠 【うまくいったこと】	【うまくいかなかったこと】
【気づいたこと】	
主・対で深い学びの実現に向けた改善	

- 働きかけについて(HOW TO)
- 自ら考え、判断して行動する手助けをするためのもの
 - 活動「開始時」「途中」「つまずき」「終了時」を想定
 - 誘い、示範例示、助言、説明、問いかけ、盛り上げ、賞賛、励まし、認め、意味づけなどを行う
 - 子どもに合わせた伝わりやすいことばや提示
 - 抑揚や身振り、表情、子どもの好きなものなど工夫
 - つまずきに対して答えでなく段階的な働きかけを
 - 課題遂行につながる効果的なことばかけ
 - 何がよかったかわかるよう即時評価
 - よさや価値を伝えられる認め
 - 働きかけを段階的に減らしていく工夫